

甲「あなたは今晚開かれる石亭君の演説を聴きにおいでになりますか」  
乙「行かうと思ひます」

甲「どうも愚にもつかぬ演説をするといふことですから、およしになつたほうがよろしうございませうよ」

乙「それでも、参らなければなりません。わたしがその石亭だ」

### ◆グラランドストーンの汽車演説

グラランドストーンは人氣のある政治家であり世界的の雄辯家であつた。たまにかれが旅行でもするときは、新聞記者や雑誌記者がおそろしく澤山ついて來た。かれがある時ロンドンからエデンバラに出かけたことがあつた。その時はどういふ譯か新聞記者が一人しかゐなかつた。

汽車が途中のある田舎の驛につくと、停車場にこの偉大なる政治家を一目みたいと

いふ物好きな連中が一ぱい待つてゐた。この大英國の首相はわざ／＼入口にでかけて行つて演説を始めた。

土地の人たちは思ひかけなく首相の演説を聴かれることを喜んだ、ところが汽車は首相の演説に容赦もなく動きたした。一言一句も聴きもらさぬやうに吸ひ込んでゐた聴衆は置いてきぼりを食はされたがグラランドストーンの演説はなほ諄々として盡きない、たゞ一人しかゐない新聞記者に向きなほつて、その雄辯を揮つた。新聞記者は幸に速記の心得があつたから、翌日の新聞には首相の演説がそっくりそのまま現はれた停車場で首相の演説を聴きさせた人達は新聞によつてその全部を知る得ることができた。

### ◆ブライアンと講演題

米國民主黨の領袖ブライアンが米國南部のある地方へ講演に出かけたことがあつ

た。汽車がその市へ着くとブライアンは幾年か前に自分がその市へ講演に來たことであつたのを思ひだした。講演者にはよくあることで、どうかすると同じ土地で同じ講演をしないとも限らない。かれはこの前の演題は何であつたかを考へだしたいとあせつたが、どうしても思ひだせなかつた。自動車はこの苦悶の政治家を乗せて講演會の會場に走つてゐた。表玄關にびたりと自動車をとまると以前の會場もこゝであつたことを思ひだした。そこに衝つ立つてゐた門番の爺さんはニコくして近づいて來た。

『これはく旦那様、お久しぶりでございます』といつて頭を二三度下げた。

この瞬間、雄辯家の頭に閃ひて來たものがあつた。かれは爺さんに近づきながら、『お前も達者でよいのう、この前わしがこゝで講演をしたことがあつたが、あれからお前はすつとゐるのか』——と爺さんの顔をさも覺えてゐたかの如くに馴れなれしく訊ねた。

た。『ハイハイあれからすつと務めさせて頂いて居ります』とまた爺さんは頭をさげ

た。『そうだつたか。それで……』とこの雄辯家は少しはにかみながら、

『その時わしがこゝで何をやつたかお前覺えてゐないだらうなあ……』といつ

た。

『ハイハイよく覺えて居りますとも、旦那様はあの時、五十仙下さいました』  
ブライアンはやむなくポケットから五十仙取りだして爺さんの掌にのせてやつた。  
しかし演題のことは遂に判らなかつた。

#### ◆君の次ぎの辯士

ある辯士が演壇に立つて滔々と長舌を揮つて居ると、聴衆は一人減り、二人減りして、終にはたつた一人となつて仕舞つた。辯士はそこでその一人に向ひ、

「あなたは能く僕の演説を謹聴して呉れました」と感謝すると其人は  
 「エ、私は君の次の辯士なのだ」

◆聴衆の眼の醒めぬやう

演説学の先生が一人の生徒に公開演説の實習をさせた。  
 教師「あなたの演説が済んだら丁寧にお辭儀をして爪先で歩いて静かにブラットホームを下なさい。」といふた。するとその生徒は不審さうに訊ねた。  
 「先生なぜ爪先で歩かねばならんのですか」  
 教師「聴衆の眼の醒めぬやうに注意しなければなりません」

(製複許不)



大正十五年一月十日印  
 大正十五年一月十五日發  
 行 刷

(雄辯研究叢書第二編)

(雄辯警語諧謔酒脫皮肉挿話とその新研究)  
 ◇定價金八拾錢◇

編者 竹内 尉  
 東京市神田區錦町三丁目廿五番地  
 發行者 齋藤 龍 光  
 東京市芝區愛宕町二丁目十五番地  
 印刷者 正木 靖

發兌

雄辯研究社

東京市神田區錦町三丁目二十五番地  
 振替口座東京五九六五八番

◀ 世の先驅者は皆雄辯家であつた ▶

◇現代は舌とペンの時代であり、しかも雄辯は日常絶へず行はれる宣傳である。何人も先づ此新時代の武器を準備する事なくして生活戦場に臨む事は無謀だ、實に雄辯術は現代人の生活術である。

▼舌の偉力が人間生活を支配する時代が来た、學生・教師・政治家・思想家・宗道家は勿論實業に従事する者、その他何人も話し方即ち交渉・辯論・演説・講演等の技能のない爲に自己の才能と其思ふ事を自由に表現し得ずために成功するものもむざむざ失敗に終る事になる、まして此頃は一寸した宴會會合の際でも五六人集まればすぐにテーブルスピーチが始まる、その際一言の挨拶もできないやうでは萬座の中で恥をかきなればならぬ、まして演説に社交に何でも人を成程と合點させる丈の口が利かなくては成功は到底覺えない、實に人間の成敗は舌によつて決せられる。本書は新聞と同じく平易に書かれてあるから一度も演説をした事のない人も今迄うまくできなかった人も本書一冊あれば宴會・集會・式辭・挨拶・其他何れの場合でも自由自在に必ず雄辯になる事が出来る。雄辯の權威永井柳太郎氏が外務省參事官の激職の中にありて特に十餘頁に亘る長序を寄せて曰く「僅かに三寸の舌端の爲め古來無數の暴君は命を奪はれ人類の歴史は幾度か轉回した」と尙現代の寂寞な雄辯界に本書の如き眞面目な研究書の出づる事は大に人意を強ふると、もつて本書が區々たる類書に角頭をいだせるを知るべし。(十六版出来)

永井柳太郎序  
竹内 尉著

演説雄辯を練れ

【普選は兩院を通過し、吾等の前に普選時代が實現された】

第一第二第三第四第五第六第七第八第九第十第十一第十二第十三第十四第十五第十六第十七第十八第十九第二十

雄辯とは何か  
演説の準備  
思想の組み立て  
草案の選び方  
言葉の立場より  
論理の接推理  
三段論法(間接推理)  
雄辯的心理と群衆心理  
實際的方面の研究  
修辭學的方面の研究  
登壇の態度について  
登壇の進行について  
本論の進行について  
結論の進行について  
熱血雄辯家の研究  
雄辯の力と新聞の勢力  
民衆のクライマックス運動

◆定價一圓八十錢◆  
送料十錢

賣行 如飛

英語の講義 (ABC) は

研修英語學校講師加賀谷林之助先生著

三六判特製  
定價金壹圓  
送料四錢

—(を容内るせ實充よ見)—

第一章 文字とその名稱

A はaでも同じで「エイ」といふ名の字であります。Aやaは活版體と言つて印刷に使つて決して書く時には使ひません。書く時にはAの代りにAを、aの代りにaを用ひます。(以下略)

第三章 This is a pan

「これはパンである」といふ日本語で英語では

This is a pan  
是は ある パンで

Thは二つの文字で一つの音を代表します。この發音は舌の先を少しばかり上下の前歯で噛んで其儘聲を出します。これは到底日本語では表はせない音でかりに□と□でかこつて置ませう。

i はイと發音。  
s は上下の前歯を揃へて噛み合せ、その齒に息を衝き當てるやうに強く發音するのであります。「ス」。

そこでThisは□イスと發音するのです。そして意味は「是は」と云ふことなのであります。つまりすぐ目の前が近くにあるものを指して「これは」といふ意味であります。

書籍に、新聞雜誌に、英語を修めることを怠るわけには行けません。自己の義務から、社會員としての義務から、本書はローマ字からABCのAの字も讀めぬ一人に習へるやうに、英語には全部フリガナにて發音を附し、尚英語字には二十六文字の書き方を一々圖で示し、パンの持ち方迄詳細に、教師が手をとつて教ふるより以上懇切に説いてあるから、講義録として初めからやれば、知らず／＼中學二三年以上の實力が得られます。諸君の机上には是非一書をおすめします。

英語に無智な人は一種の盲目に等しい。道を歩けば立札に、看板に、廣告に、英語を發見します。家にあつても諸道具に、英語を修めることを怠る。自己の義務から、社會員としての義務から、本書はローマ字からABCのAの字も讀めぬ一人に習へるやうに、英語には全部フリガナにて發音を附し、尚英語字には二十六文字の書き方を一々圖で示し、パンの持ち方迄詳細に、教師が手をとつて教ふるより以上懇切に説いてあるから、講義録として初めからやれば、知らず／＼中學二三年以上の實力が得られます。諸君の机上には是非一書をおすめします。

# 起て新時

(現代名士新)

竹内 尉 著

四六版二百餘頁 定價一圓五十錢  
寫真數葉挿入 普通送料十錢

## 現代名士新立志傳

後藤新平 藤山明太 加藤高明 藤山正人 井上柳太郎 永井柳太郎 田中義一 中野實 竹内義一 増田義一 野田義一 鈴木義一 加川義一

南洋(剛膽ならむと慾せば偉人のなせる迹に學べ)

複雑なる現代の活社會にたちて奮闘せんとするものは、先づ現代の名士新人が如何にして成功し、彼等の出世のスタートが如何にして出發されてゐるかを知らねばならぬ、本書はこの問題を解決するために波瀾重疊たる彼等の生活を如實に表現したる立志血涙史であり、更に赤裸々にして無遠慮な評傳である。現代の活社會に處し時代の風潮におくれざらんとするものは當代の彼等の奮闘の跡をたづね、これに學ぶところがなければならぬ。

# 代の青年

(二人十人傳)

本書は彼等の深刻なる體驗より得來れる活きたる言行を評論し、特長も缺陷もともに傳へ眞の價値を表はしてあますところ無き迄に解剖した。故に一度本書を手にはせば座して名士新人と語るの快あり、讀者をして同化せざるばやまざるものである。從來この種の類書の刊行されてゐるもの尠くない、しかしその多くは彼等の讚仰記であり禮拜記であつた、しかるに本書は眞實を眞實としあくまで公平な立場にありて彼等を論評しその蔽はれたる缺陷を暴露してゐる、青年これを一讀すればその優れたる特長を知るとともに缺陷に向つても注意を拂ふことができる、彼等は缺陷あるが故に奮闘した、缺陷なきものは青年の範とするに足らぬ、まづこの活模範を見よ、しかして時勢におくれぬやう新人を友とせよ、一讀必ず諸君の血となり肉となる新時代の生きたる羅針盤たることを失はぬ。  
これ等名士新人が本書を通じて青年に與へられた希望戒慎激勵の助言を熟讀翫味し以つて立志の一助たらしめんことを希望して息まない。

研修英語學校講師加賀谷林之助先生著 — 大好評學生諸君の福音 —

# 初等英語

はどしどし解るやうになる

# 生きた英文法

三六判總クロス特製  
定價金壹圓也  
送料四錢

ABCが讀め出したらずぐ此の本を!!

## 八版發賣

つらい暗記を排し一つの法則で凡ての場合を盡して行く勉強法は、諸君の要求さるゝところであらふ、内容見本を見よ!

### ◇本見内容◇

1  
BやDやIなどは文字と言ふもので何の意味も持たないのですが、これらを集つて Bird となつると「鳥」といふ意味を持ちます。今度この Bird を單語が集つてある文章だと申します。 Birds sing となつたものには必ず文章と名付けてよい譯をさして文章には必ず何が何する 何が何だ といふ関係があります。そこで文章の中で ———— は といふ部分を主語と申します

研修英語學校講師加賀谷林之助先生著 再版賣切 三版出來

## 試驗に和文英譯の問題の型

三六判特製美本  
定價金壹圓也  
送料四錢

終

